

アルカリ性単純泉「美人の湯」 冬限定あんこう鍋が人気 寛永5年創業「筑波山江戸屋」

寛永5年創業の歴史ある旅館「筑波山江戸屋」。初代吉岡久左衛門が筑波山の参詣客相手に宿を始め、明治期には横綱・常陸山、昭和に入ると北原白秋や横瀬夜雨などの文人や皇太子殿下も宿泊。昭和天皇も来館し「よい景色のところでゆつくり寛げました」との言

葉を残している。宿はケーブルカー「宮脇



ドリンクセットもある足湯

駅」と筑波山神社のそば。内湯・露天の温泉「双神の湯」はアルカリ性単純温泉でペーハー値が10・1と高く、美肌や神経痛、関節痛に効用があるとされる。



季節感を盛り込んだ料理の一例



せせらぎの中の露天風呂でゆったり

宿では茨城名産の「あんこう鍋」を満喫するプラン（大人1人1泊1方2000円）では個室利用の「彩り膳0円」などが人気。日帰スタンダード」4200円

や「男女川膳チョイスプラン」3150円等があり、入浴は各500円追加。レストラン利用であんこう鍋も選べる「3種鍋の味くらべコース」は入浴料込み2983円と大変お得。入浴のみは中学生以上1000円、小学生以下500円※ハンドタオル付。



文人や皇族も立ち寄られた歴史ある旅館

あす2月19日(日)〜3月21日(祝)は山腹の梅林で1000本の梅が咲き競う「筑波山梅まつり」。また、江戸く大正期の蔵や門で知られる近隣の桜川市真壁町で「真壁のひなまつり」も開かれているので日帰りや1泊の観光拠点に利用しては。問い合わせ・予約 029・8666・0321(つくば市筑波728)。HP有り。



読者プレゼント
筑波山江戸屋の日帰り入浴券をペア5組に。応募方法は4面右下に掲載。